大阪府立大学総合リハビリテーション学部理学療法学専攻・大阪府立看護大学総合リハビリテーション学部理学療法学専攻・
同大学医療技術短期大学部理学療法学科　同窓会　「竹羽会」　会誌　Vol.10　　2009年4月発行

竹内街道

takenouchi – kaido

Vol.10

〒583-8555　大阪府立大学
総合リハビリテーション学部
理学療法学専攻内　竹羽会
発行責任者:木村　佳記
編集者:　　藤堂　恵美子

巻頭言

寒さも和らぎ、桜が花開く季節になりました。竹羽会の皆様はお変わりなく、お健やかにお暮らしのことと思います。

日頃から本会へのご理解、ご協力を頂き、ありがとうございます。

さて、振り返ってみると、私が竹羽会執行部に参加させて頂いてから早いもので 7 年目となりました。個人的にはその間に職場を変わって母校の教員になるという変化がありましたが、竹羽会自体も少しずつ変化してきたのではないかと感じています。会員数が増加してきたこと、年 2 回の研修会を定例化できたこと、執行部のメンバー交代など、いろいろな出来事がありました。発展的方向へ進んでいることを実感し、とても嬉しく思っています。

近年、診療報酬改定や国家試験合格率低下、就職状況の厳しさなど、理学療法士にとって追い風とは言えない状況が続いています。しかし、こんな時だからこそ竹羽会の役割が重要なのではないかと思います。同期という横のつながりと先輩、後輩の間の縦のつながりの両方が機能していること。私が母校の中で最も好きな点の一つです。少ない人数だからこそより密接で深い関係が築けると思います。現在会員数は 190 名を数え、1 年後には 200 名を突破します。竹羽会のますますの発展、繁栄のためには会員の皆様一人一人のご参加、ご協力が不可欠です。

これからも素敵な会を作っていくために、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

竹羽会　事務局長　灰方　淑恵（7 期生）

（2009 年 3 月 24 日　卒業記念パーティーにて）

第10回竹羽会研修会報告「臨床で使えるテーピング」

日　時：　平成20年10月5日（日）　10：30～15：45
場　所：　大阪発達総合療育センター　１階リハビリテーション室
講　師：　木村　佳記　先生　（東豊中渡辺病院　リハビリテーション科）
参加者：　20名

研修会を終えて

今回の研修会では、一部で「一般臨床で使えるテーピング」を木村先生から実技をふまえての講義があり、二部では先輩の先生方との茶話会がありました。
私自身、テーピングはスポーツ分野で用いることが多く、臨床で使用することは難しいと思っていましたが、今回の講義では「一般臨床で使える」ということで、テーピングの基礎・運動連鎖や歩行から考えたテーピングの実際を分かりやすく教えていただき、さらに実技ではお互いに動作分析を行い、それぞれにあったテーピングを試しながら、その変化を感じることができました。その後の臨床で、膝関節に疼痛のある症例に対して、テーピングを試してみたところ、疼痛が軽減し歩行距離が延長するという経験をしました。導入が難しいと思っていたテーピングでしたが、実際に手軽に用いることができると実感し、これからも臨床で応用していければと思いました。

二部の茶話会では、急性期・回復期などそれぞれの分野に分かれて、先輩方と臨床で悩んでいることや、難しい症例など様々なことについて話をすることができました。私は現在、病院の回復期病棟に所属していますが、予後予測やゴール設定の期間、病院から在宅へのつながりなどについて多くのアドバイスをいただき、臨床の中で参考にさせていただいています。
今回初めて竹羽会の研修会に参加させていただきましたが、臨床へつなげることのできる、とても貴重な経験をすることができたと感じています。
最後になりましたが、このように有意義な研修会を開催していただいた木村先生をはじめ執行部の先生方に感謝します。

品川　可菜（学部２期生）
（大阪府済生会泉尾病院）

総会案内

平成 21 年度定期総会開催のご通知

竹羽会事務局長　　灰方　淑恵

拝啓　春暖の候､会員の皆様におかれましてはいよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当会平成 21 年度定期総会を下記により開催いたします。今後の竹羽会を考える良い機会になると考えますのでご出席いただけますようご案内申し上げます。なお当日お差支えのある場合は同封の委任状をご利用ください。賛否の表示とご捺印のうえ期日までにご返送いただきますようお願いします。

敬具

記

日　　時：平成 21 年 6 月 14 日（日）　12：45～（12：30～　受付開始）

場　　所：新梅田研修センター

審議議題：第一号議案　平成 20 年度事業報告

第二号議案　平成 20 年度会計報告

第三号議案　平成 21 年度事業計画

第四号議案　人事に関する件　　選挙について

第五号議案　その他　　広報誌発送作業の業者委託について

締め切り：平成 21 年 5 月 31 日（水）

問い合わせ先：灰方　淑恵（7 期生：大阪府立大学　haikata@rehab.osakafu-u.ac.jp）

以上

第11回卒後研修会のお知らせ

「股関節の病態評価と治療」

講師：建内　宏重　先生（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻）

今回は、股関節疾患の運動学や評価、治療について名高い建内宏重先生にご講義いただけることになりました。会場や募集人数の関係上、座学が中心の研修会となりますが、次の日から使える知識や技術を教えていただけることと私たちも楽しみにしております。会員外の方々の参加も募集しますので、職場の方などにも別紙の研修会案内（非会員版）を配っていただき、是非皆様で参加して下さい。よろしくお願い致します。

申し込み方法等は、別紙研修会案内をご参照下さい。

学術部　河西　由喜

役員選挙に関する公報

平成21年4月15日

会員各位

竹羽会　選挙管理委員会
委員長　山本　裕子

拝啓　時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、竹羽会役員選挙に関して下記のとおりお知らせいたします。
　なお選挙は平成21年6月14日の定例総会において行いますのでよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 立候補者名
　会長候補　：1名（定数1）
　副会長候補：2名（定数2）
　監査候補　：2名（定数2）

2. 選挙投票日　　平成21年6月14日（日）

3. 会長、副会長および監査について
　いずれも定数以内ですので、規約細則により信任投票となります。

4. 立候補者の氏名および趣旨

会長立候補者　1名　（定員1）

〇太田　幸子　5期生　国立循環器病センター　　推薦者：木村佳記　他4名

　太田幸子さんは2005年度から執行部の学術部の部長を務められ、現在では副会長としてより責任ある立場でOB会に貢献していただいています。
　常に冷静沈着であり、他者の意見を尊重しつつ的を射た発言のできる彼女は、執行部内での取り決めにおいては欠かせない存在であり、今回会長を務めさせていただいた私自身も彼女の意見に大変助けられてきました。また、太田さんは理学療法士免許取得以来、脳血管障害・呼吸循環器の領域で継続して研鑽を重ねられ、臨床だけでなく学術的にも見識が高く、さらに、大阪府士会でも部員としての役割を担われるなど多彩な能力を発揮され、その様々な場面での対応力の高さは執行部内での信頼につながっています。

以上のことから、太田幸子さんは竹羽会をさらに発展させるために必要不可欠な存在でありますので、次期会長に推薦します。

副会長立候補者　2名　（定員2）

〇灰方　淑恵　7期生　大阪府立大学　　推薦者：山本　裕子　他4名

灰方淑恵さんは短大を卒業してすぐ 7 期生代表として、竹羽会の執行部の一員として会場の準備や連絡係等、裏方としてご尽力いただいておりました。その後、広報部の部長を2年務められ、現在は母校の教員として忙しい日々を過ごす傍ら、事務部の部長として卒業生の卒業後の住所の管理や様々な行事の裏方として竹羽会を影ながら支えてくださいました。常に冷静に物事を判断し、周囲に注意を向け物事を遂行する事ができる彼女の力は、今後の竹羽会の発展に必要であると考え、次期副会長に推薦させていただきます。

〇河西　由喜　8期生　協和会病院　　推薦者：太田　幸子　他4名

河西由喜さんは2007年度より学術部長に就任され、年2回ある研修会の準備・運営に精力的に取り組んでこられています。講師との連絡や当日のスケジュール、準備など細かいところまで行き届いた指示を出し、竹羽会の大きなイベントである研修会を無事に成功させてくれているのも、彼女の力があってこそだと思います。

また、竹羽会での活動だけでなく、私的にも先輩、後輩の垣根を超えて交流が多く、先輩、後輩、同級生と非常に人望の厚い方です。さらには、大阪府士会の総務部でも仕事を行っており、様々な知識を得て活躍されています。

責任感も強く副会長の仕事を全うしてくれることは間違いありません。今後の竹羽会の発展になくてはならない存在だと思い、河西さんを次期副会長に推薦します。

監査立候補者　2名　（定員2）

〇安藤　卓　4期生　大阪府済生会吹田病院　　推薦者：木村　佳記　他4名

〇新保　健次　6期生　大阪リハビリテーション専門学校　　推薦者：木村　佳記　他4名

以上

特集　Recent History of Alma Mater～3～

大阪府立大学　総合リハビリテーション学部　理学療法学専攻　淵岡　聡

今回の原稿〆切日は平成 21 年 3 月 31 日。平成 20 年度の最終日。理学療法士国家試験の発表日…。今年の卒業生の担任だった僕はドキドキしながら午後 2 時を迎えましたが，幸いにも全員合格の吉報を聞くことができました！ OB の中には実習指導でお世話になった方もいらっしゃると思います。この場を借りてお礼とともにご報告申し上げます。どうもありがとうございました。

明日から平成 21 年度が始まります。大阪府立大学総合リハビリテーション学部としては，大学院総合リハビリテーション学研究科博士後期課程が開設され，高等教育機関としての最後のステップが完成することになります。今回は少々堅苦しい話になりますが，お付き合いを。

法人化されたとはいえ，大阪府において理学療法士養成課程を有する唯一の公立大学である大阪府立大学に博士課程が設置されたことは，理学療法士の将来にとって大変意味のあることです。「理学療法士は国家資格」と言いながらも，最短の場合，高卒後３年間の専門学校教育で受験資格が得られるということは，医療職として確固たる社会的地位を確立しているとはまだまだ言い難いと考えるのが妥当でしょう。

そんな中で理学療法学に関する博士課程が設置されたことは，「博士課程で学び発展させるべき内容が理学療法(学)にはある」という裏付けとなり，今後の理学療法を取り巻く情勢を好転させるための足がかりとなります。少数の高学歴者を輩出することに意味があるのではなく，OB の皆さんのように，臨床の最前線で活躍している理学療法士が社会から正当に評価され，持てる能力を十分に発揮するための基盤を形成することが重要であり，そのための足がかりにはなるだろうと考えています。

もちろん，博士課程の設置だけで盤石な体制が構築できるわけではありません。医療・福祉や教育は金儲けの道具にはなり得ず，公金をつぎ込んででも充実させるべき分野だと思います。昨今の医療費抑制政策は国力の低下につながるとさえ言われています。そうは言っても感情論では物事を動かす力として弱すぎる。今後ますます増加するであろう「理学療法サービスを必要とする人々」に対して，必要なサービスを必要なだけ提供できる状況を作り出すために，行政や国民を納得させるだけの説得力のある研究結果を提示することも，大学に課せられた使命のひとつと思っています。

と，偉そうなことを書きましたが，そんな大層なことができる自信があるわけではありません。「形から入る」のが好きな僕としては，博士課程という「形」ができたことで満足してしまいそうですが，中身を充実させるのがどれほど大変なことかは十分認識しています。精一杯やるべきことをやるだけです（自分が壊れない程度に…）。

うちの大学院の特徴は社会人に広く門戸を開いていることです。OB の皆さん，日々の業務だけで多忙だとは思いますが，大学の環境にどっぷり浸かって，臨床での疑問を深く考える時間を持ってみるのもいいものですヨ。OB が母校の大学院に帰って来てくれて，再び一緒に知的な会話ができるのを楽しみにお待ちしています。

僕は勉強きらいですけどネ。

会費納入のお願い

竹羽会の運営は，会員の皆様から収めて頂く会費によって支えられています．未納入の方は是非ともお収め下さい．なお，会費は**永久会費**で20000円となっております．
たいへん大きい金額ではございますが，勉強会開催などの費用に割り当てる大切なお金です．よろしくお願いいたします．

<郵便振替口座>

振替口座：00910-7-223456

加入者名：竹羽会

・振込手数料はまことに恐縮ですがご負担をお願いいたします．
・必ず振込み者の氏名と期数
（例：カンゴダイ　ハナコ　3　）
を入れて下さい．
・ATMからも振込みができます
（専用の用紙をお渡しします）．

竹羽会「永久会費」に関するお問い合わせは下記までお願いします．

財務部：黒川　めぐみ（9期生）
連絡先：TEL：(06) 6699-8731
（大阪発達総合療育センター）
E-mail：kuro96515@yahoo.co.jp

投稿大募集！

『竹内街道』では、会員の皆様からの投稿原稿を大募集しています。「こんな研修会に参加してきました」「こんな勉強会をやってます」「今度、同窓会があります」などなど、内容、文字数等問いません。会員に知らせたいことを何でも良いので広報部までお寄せください。次号は、平成21年秋頃発行予定です。投稿お待ちしてます！！

広報部　　赤井　友美（8期生　奈良東病院）　E-mail：tomoa_a3335@yahoo.co.jp

編集後記

・竹内街道の編集に携わって、4年が経過しました。そろそろ次の世代にバトンタッチの時期でしょうか。今後とも竹内街道をよろしくお願いします！（灰方）
・今回で広報部長としては最後の竹内街道になります。皆様に読んで頂ける紙面になっていたでしょうか。淵岡先生、お忙しい中本当にご協力ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。（赤井）
・就職して1年ですが、体調不良続きなこの頃です…益々張り切っていきたいです！（高橋）
・節目のVol.10です！今回初めて竹内街道の編集に本格的に関わらせて頂きました。これからもよろしくお願い致します。（藤堂）

お問い合わせ・連絡先

所属の変更等がございましたら，こちらまでお知らせ下

事務局：灰方　淑恵（7期生）
〒583-8555　大阪府羽曳野市はびきの3-7-30
大阪府立大学　総合リハビリテーション学部　理学療法学専攻
TEL：(072) 950-2111　　FAX：(072) 950-2130　　E-mail：haikata@rehab.osakafu-u.ac.jp

大阪府立大学
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY